子どもからも国保料「徴集」？改善を！

－共産党市議団が決算特別委員会で市民の声を代弁－

尾道民報

日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発　行】
岡野長寿
（0845-22-2596）
三浦とおる
（0848-48-5044）

10月8日～10日まで行われた決算特別委員会で、岡野長寿・三浦とおるの共産党市議団は、尾道市の行政執行が市民のくらしを守る立場で行われているか、市民の声を代弁する論戦を行いました。

少子化対策　保険料賦課でも貫け！

岡野市議は国民健康保険事業について質疑、今年度県単位化の中で市が国保基金を活用して保険料が値上げにならないよう努力したことを評価した後、「公的医療保険制度で子どもから保険料を徴収する保険はあるのか」と問いかけ、「国保は非正規雇用や無職の加入者によって構成されており、代表監査委員も認めているように「加入者の所得が低く、保険料が高いのが特徴、子どもをもっている家庭に着目して、少子化対策として一般会計から繰り入れ、軽減措置をとるべきではないか」と質しました。

担当部長は、「子どもに保険料を賦課しているのではない」と反論しましたが、同議員は「そんなことはわかっている。子どもから直接税金を取り上げるのは消費税くらいなもの。国保も実質子どもに課税するのと同じ」と指摘しました。

国の支援分を使えば4千200万円で実現！

また、同議員は、「国から子ども支援分としてお金が来ているはずだがいくらか」と質問。担当課長は「調整金の中に800万円入っている」と答弁。同議員はあと市が4，200万円予算化すれば改善できるではないか」と求めました。

国保改善にとりくむ自治体

北海道	旭川市	★
岩手県	宮古市	★◎
宮城県	仙台市	★
福島県	南相馬市	★◎
	白河市	★◎
新潟県	佐渡市	
東京都	昭島市	
	東大和市	
	清瀬市	
	武蔵村山市	
茨城県	取手市	★
埼玉県	富士見市	
	ふじみ野市	
	鴻巣市	
	杉戸町	
	皆野町	
	小鹿野町	
石川県	加賀市	★
岐阜県	下呂市	
愛知県	一宮市	★
	大府市	★
	田原市	
兵庫県	赤穂市	
島根県	浜田市	
広島県	福山市	

★…第一子から減免
◎…全額免除

不登校の子どもに支援の手を－因島・瀬戸田でも－

「尾道の教室には行きたいけど、島からは通えない」

岡野長寿市議は、決算年度不登校の子どもが増えているのは勉強がわからないままほっておかれているからではないかと指摘。また尾道の適応指導教室が大きな成果をあげていることを確認し、常設の教室を島嶼部にも設けるよう求め、市教委も努力を約束。

不登校児童・生徒の推移

H28	H29	H30
133	140	168

PTAからの要望書　（一部掲載）

本校の生徒は概ね落ち着いて学校生活に取り組める状況ですが、多様な理由により学校に登校できない生徒が多くいることが課題です。これまでも学校復帰に向けた取り組みとして、西土堂町にある尾道市適応指導教室への通室を検討した生徒・保護者もいますが、島外で通室に距離があり、しまなみ海道の通行料等が負担となり、復帰に向けて継続して・・・

特別支援教育支援員の増員を

三浦とおる市議が増員配置を強く求める

三浦市議は尾道市の小中学校での特別支援教育支援員の配置について教育委員会を質しました。「学校現場は本当に日々の対応で困っている」と現状を訴え、支援員の増員配置を強く求めました。

特別支援教育支援員の小中学校での配置人数（年度別）推移

H28年度（決算）	H29年度（決算）	H30年度（決算）	R元年度（予算）
58人	60人	65人	65人

三浦市議は、一般質問でも行った「特別支援教育支援員の配置について」質していく中で、毎年少しずつではあるが増員されていた支援員の数が、今年度は増えていないことが明らかになりました。

「学校現場から120人配置要望が出されている支援員数をどう考えているのか」「個別の指導計画が必要な児童・生徒に対しての教育的な配慮が十分に行えているのか」と質していきました。

学校生活や学習場面で困難さを持つ児童にとって、困難さを理解して寄り添って支援してくれる特別支援教育支援員は、とても大切なものであることを訴え、学校の要望人数を確保していくべきであると強く要求していきました。